

Case Study



“RuleGATE” 1100 シリーズ



ケーススタディ

ニューオーリンズ大学 現実の問題になる前に脅威を排除!

ニューオーリンズ大学(UNO : University of New Orleans)は、ルイジアナ州にある1958年創立の公設機関です。ニューオーリンズ大都市圏内の唯一の公設の研究大学として、総在籍者数が8,000名を超える学生に様々な学部課程及び大学院課程を提供しています。

課題

大半の高等教育機関と同様に、ニューオーリンズ大学(UNO)は、サイバーセキュリティ脅威の絶え間ない波から当学の学生及び学部を保護することに関して優位を保つのに苦労しています。主要な研究大学として、当学の研究室及び図書館には大量の専有の科学データが収容されています。

60年以上にわたって収集された現役の学生及び卒業生に関する個人の機密情報に加えて、こうしたデータがあることにより、大学は常にランサムウェア及び壊滅的な影響を及ぼす他のサイバー攻撃の標的になっています。

最近の調査によれば、昨年調査した大学の44%がランサムウェア攻撃の被害を受けており、小売業界と共にリストの最上位にランクされています。昨年、多くの学生及び学部がハイブリッド学習モデルに移行したため、負担過剰になった大学のITスタッフは、環境が適切に保護されていることを確実にする方法を見つけるために、これまで以上に多くの支援を必要としていました。

ソリューション

大学は、CleanINTERNETマネージドセキュリティサービスと共に提案された新しいソリューションであるCentripetalに興味を持ちました。

「80の異なる脅威インテリジェンスパートナー及び3,500の脅威フィードからのアクションブルインテリジェンスを適用する能力を備えたCleanINTERNETは、ほぼ全ての既知の不正トラフィックがネットワークに入る前にそれらの不正トラフィックから大学のネットワークを防御することが期待できました。」

大学のチームは、CleanINTERNETサービスを担当する(Centripetal社の)脅威アナリストが非常に魅力的であることにも気付きました。このことは、負担過剰になった大学のセキュリティスタッフ及びネットワークスタッフの延長部としての役割を果たす専門SecOpsチームを設けることとなります。

したがって、(Centripetal社の)脅威アナリストは、進化し続ける脅威並びに大学の環境及び高等教育プロフィールに特有のパターンを特定して軽減するのを支援する役を務めることとなります。次の段階はクイックトライアルの予定を決めることでした。

結果

大学によるCleanINTERNETサービスの評価を主導するITチームは、結果に非常に驚くと共に、その結果を喜びました。脅威に対する防御が如何にうまく機能したかに驚いただけでなく、従来のセキュリティゲートウェイで良く見られるネットワークのパフォーマンスに対する影響がなかったことにも同様に感心しました。

トライアル期間中、CleanINTERNETは、全ての既知の不正トラフィックの約95%をネットワークに入り込むことが可能になる前に特定し、それらの不正トラフィックから大学を防御しました。



ニューオーリンズ大学CIO(最高情報責任者)兼図書館長、レイ・ワン(Ray Wang)氏

「CleanINTERNETは、脅威ランドスケープが当大学の環境においてどのように見えるかに対する遙かに良い可視性をもたらしました。CleanINTERNETにより、現実の問題になる前に軽減することができる脅威に重点を置くことが可能になります。」

現在、CleanINTERNETは毎日、平均で700万超の脅威から大学を防御しており、その結果として、最終的にはネットワークのパフォーマンスに対する利益も生み出しています。

リアルタイムで組織にわたる全ての疑わしいインバウンドトラフィック及びアウトバウンドトラフィックを自動的に解析し、それらのトラフィックから防御する能力は、ニューオーリンズ大学(UNO)の予想を超えていました。ワン(Wang)氏は続けて、「最初のレポートを見た時に、どれほど多くの疑わしいアクティビティが起きているか、どれほど多くの侵害試行があるかに関して、衝撃を受けました。(CleanINTERNETがなかったら) 幾つかの現実の攻撃を既に受けていたでしょうし、それによって大きな代償を払うことになっていたでしょう」と述べています。

又、CleanINTERNETサービスは、ファイアウォール及びセキュリティゲートウェイのような大学のダウンストリームセキュリティツールにかかる作業負担を大幅に低減しました。このことにより、大学は無視されていた他の優先事項の問題を阻止することに更に注意を集中させることが可能になりました。

(Centripetal社の)CleanINTERNET脅威アナリストとの定期的な打ち合わせでは、Centripetalソリューションを差別化する別の価値層がもたらされました。従来のセキュリティソリューションを逃れることが多い進化し続けるゼロデイ攻撃を阻止するのにテクノロジーだけで十分であることは減多にありません。

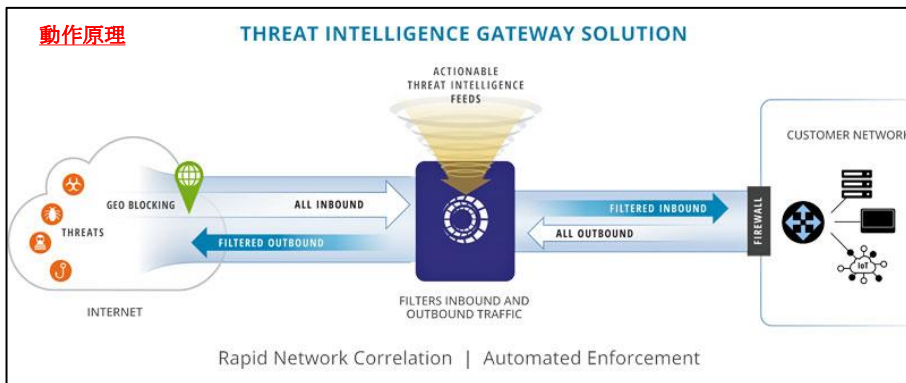
CleanINTERNETチームは、大学のネットワークを盛んに攻撃する脅威の量、種類、及び発生源を明確に理解するために大学のチームと緊密に連携しました。「CleanINTERNETは、別のスタッフメンバーを雇用することなしに脅威ハンティングの専門知識を提供してくれます」とワン(Wang)氏は述べています。

「CleanINTERNETは経験豊富なセキュリティ専門家を提供してくれます。

彼等は、私達を見守ってくれており、大学のネットワーク上で何が起きているかを理解して大惨事を食い止めることができるように私達を訓練してくれています。私達は彼等のファンになりました」

- 既に40以上の特許を有する、「CentripetalのCleanINTERNET@サービス」は、マシンスピードで大規模に動作して、グローバル脅威インテリジェンスコミュニティによって特定されたほぼ全ての既知のサイバー脅威からビジネスを動的に防御します。

「何故、CleanINTERNET@は組織に利益をもたらすことができるのか?」について御興味のある方は是非「無料 トライアル」を御試し下さい!



顧客へ提供されるレポートの一部(右表)

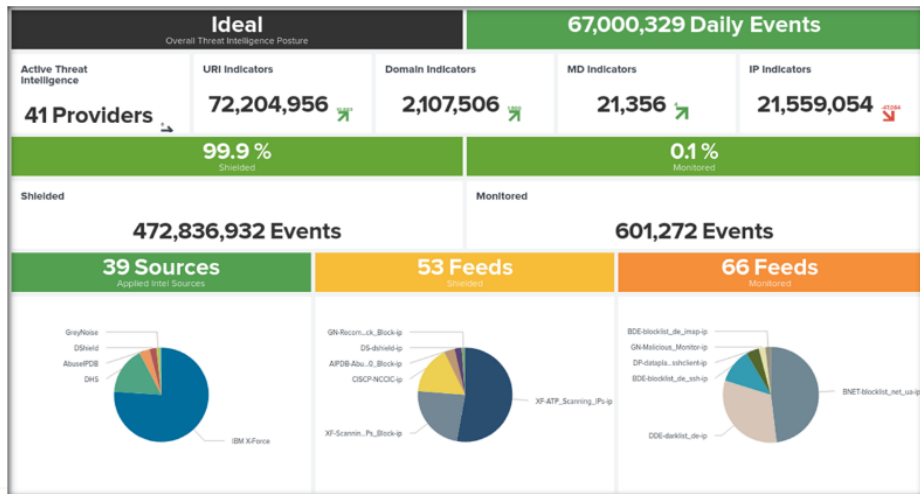
「CleanINTERNETサービス」による顧客システムのシールド(防護)状態

CleanInternetサービスを介した脅威インテリジェンスベースの防御の理想的な運用により、90%を超えるイベント負荷の中で明らかに“リスクが高い、又はビジネス上必須ではない”かの自動シールド(防護)が実現します。

このイベントの負荷を削減することで、SOCの作業負荷と企業の露出リスクを大幅に削減すると同時に、40以上の特許に裏付けされたCentripetalの高度な“脅威検出プロセス”を有効に活用できます。

現在、(右表のレポートでは)シールド(防護)効果は全体で99.9%で理想的(Ideal)と評価されていますが、これは、その期間の合計601,272イベントの負荷に相当します。

このイベント数はAIアナリスト機能によって更にトリアーージされ、AIプロファイリングにより、最終的にはこのレポートの作成で調査する必要のある対象の421の個々のイベントのデータセットに削減されました。



(詳細につきましてはご遠慮なくお問い合わせ下さい)

● Centripetal Networks社 (ヴァージニア州、米国)

2009年、国防総省(米国)や政府機関のセキュアなコミュニケーションシステムやソリューションに携わっていた技術者が中心となり設立。

長年培った技術を基に、既に40以上の特許を有し、市場初となる“Threat intelligence gateway(Rule Gate)”を開発。これを基に企業をサイバー脅威から守る他に類を見ない“CleanINTERNET”サービスソリューションを提供しています。

※ Centripetal Networks社はアメリカ合衆国国土安全保障省(DHS)のサイバーセキュリティ開発プロジェクトのベンダーにも採用されています。

(Centripetal Networksは「Deloitte's 2021 Technology Fast 500」の76番目にランクされています)

(※ 本ケーススタディは弊社で原文(英語)を和訳したものです。差異につきましては原文が優先されます)

日本総代理店

コーネットソリューションズ株式会社

Coronet Solutions (TEL) 03-5817-3655 (代)

www.coronet-solutions.co.jp

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。 CPN